

# 2024年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2023年12月4日



証券コード：4461（東証プライム）  
第一工業製薬株式会社

# 本日のアジェンダ



- 1. 2024年3月期 第2四半期 連結決算** **P.3**
- 2. 短期の見通しと取り組み** **P.17**
- 3. 中長期のシナリオ** **P.28**

# 1. 2024年3月期 第2四半期 連結決算

## 連結 業績の概要（前期比較）



減収減益：販売の落ち込みに加え、原材料価格の高騰が利益を圧迫

(単位：百万円)

	23/3月期 上期(4-9月)	24/3月期 上期(4-9月)	前年同期比増減	
			金額	増減率
売上高	32,765	29,200	△ 3,565	△ 10.9%
営業利益	717	△ 449	△ 1,166	-
経常利益	872	△ 379	△ 1,251	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 396	△ 478	△ 81	-

減収  売上高：海外向け難燃剤が大きく落ち込む

減益  営業利益：原材料価格の高騰による収益性低下

# 連結 業績の概要（24/3月期1Q・2Q比較）



**増収増益**：価格転嫁の進捗及び経費削減により収益性改善

（単位：百万円）

	24/3月期 1Q(4-6月)	24/3月期 2Q(7-9月)	増減	
			金額	増減率
売上高	13,884	15,316	1,432	10.3%
営業利益	△ 572	123	695	—
経常利益	△ 557	178	736	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 477	0	476	—

**増収**  **売上高**：界面活性剤を中心とした値上げの進捗

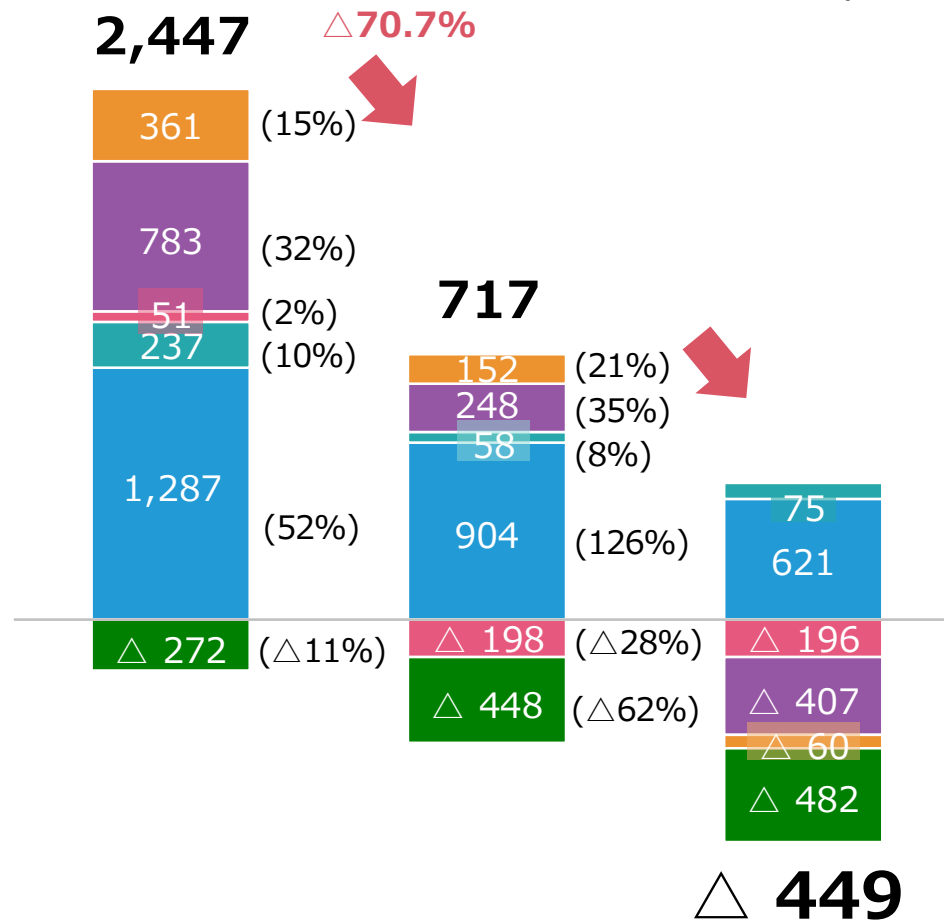
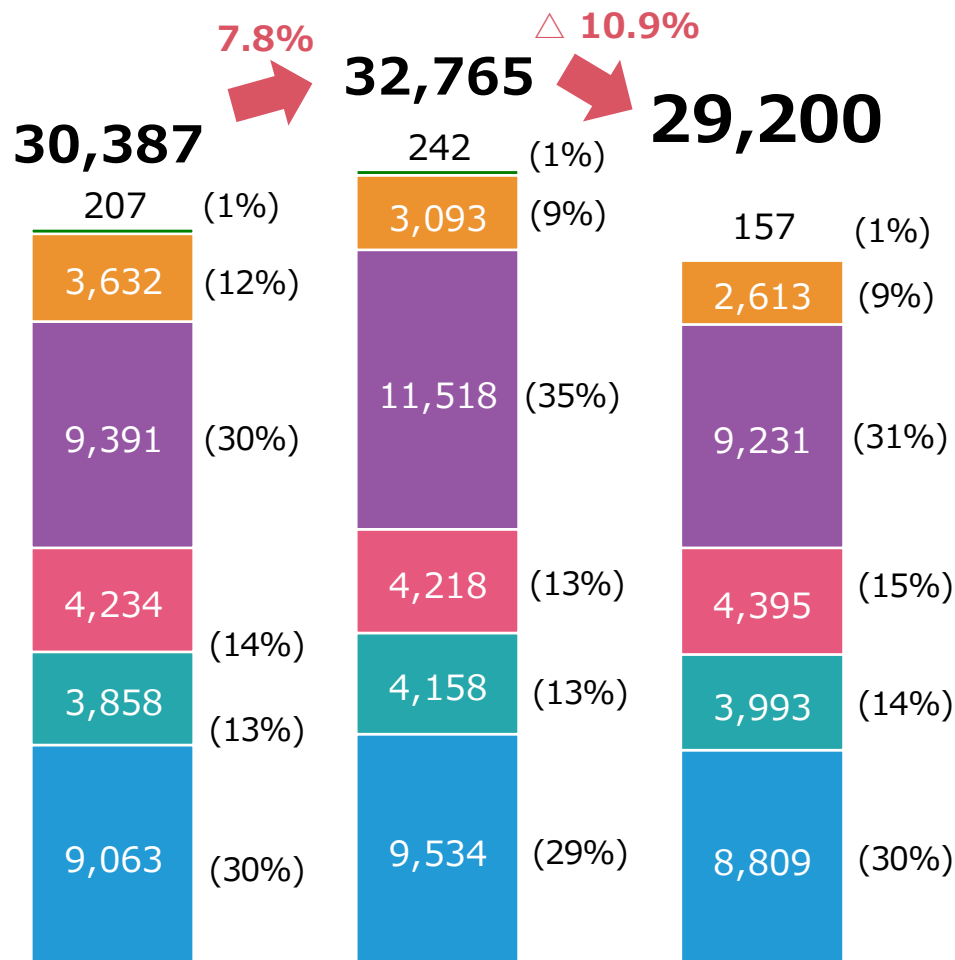
**増益**  **営業利益**：価格転嫁及びコスト削減

## 売上高

## 営業利益

( ) : 構成比

(百万円)



22/3月期  
中間期

23/3月期  
中間期

24/3月期  
中間期

22/3月期  
中間期

23/3月期  
中間期

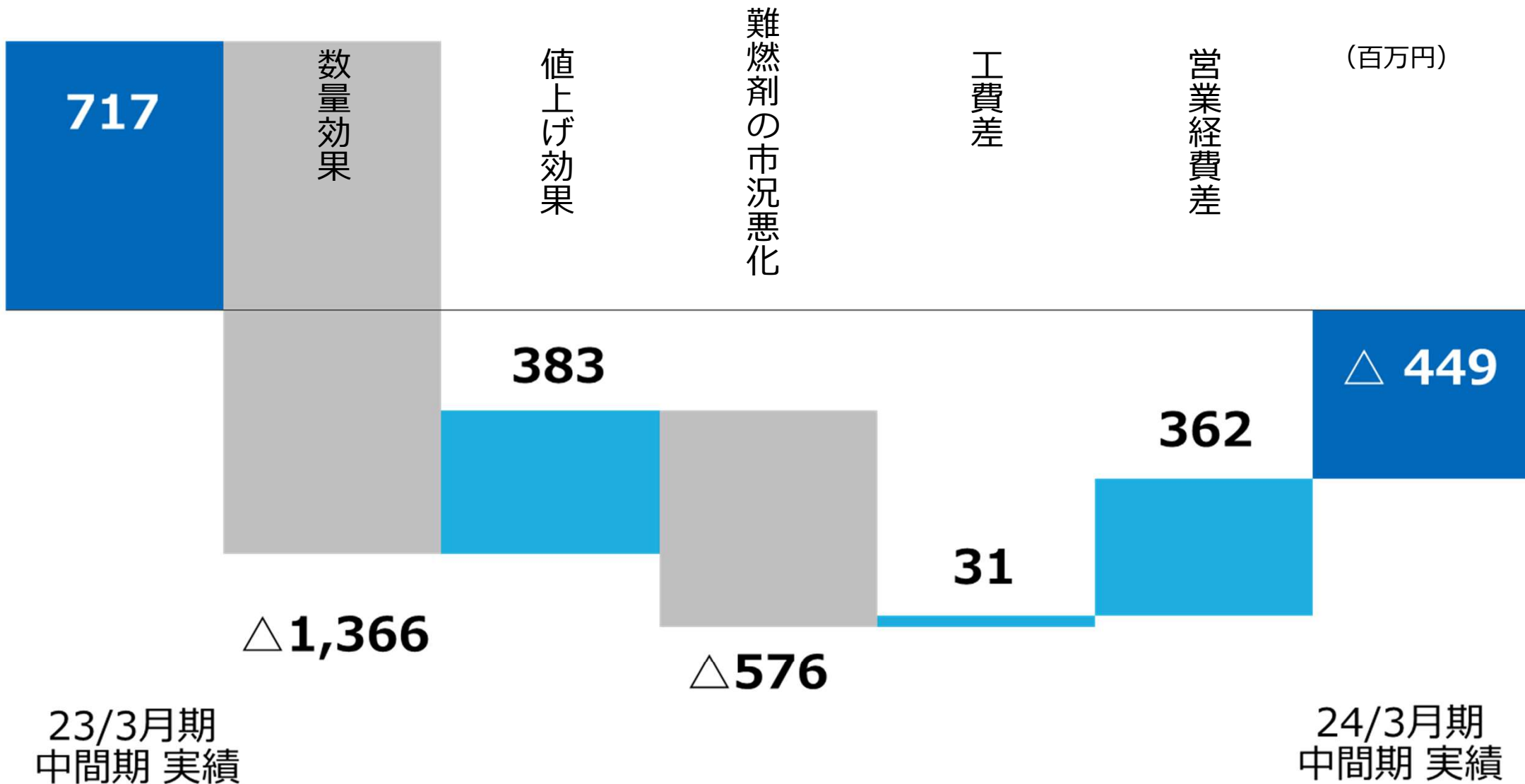
24/3月期  
中間期

■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

# 第2四半期営業利益増減分析(23/3月期中間期比較)

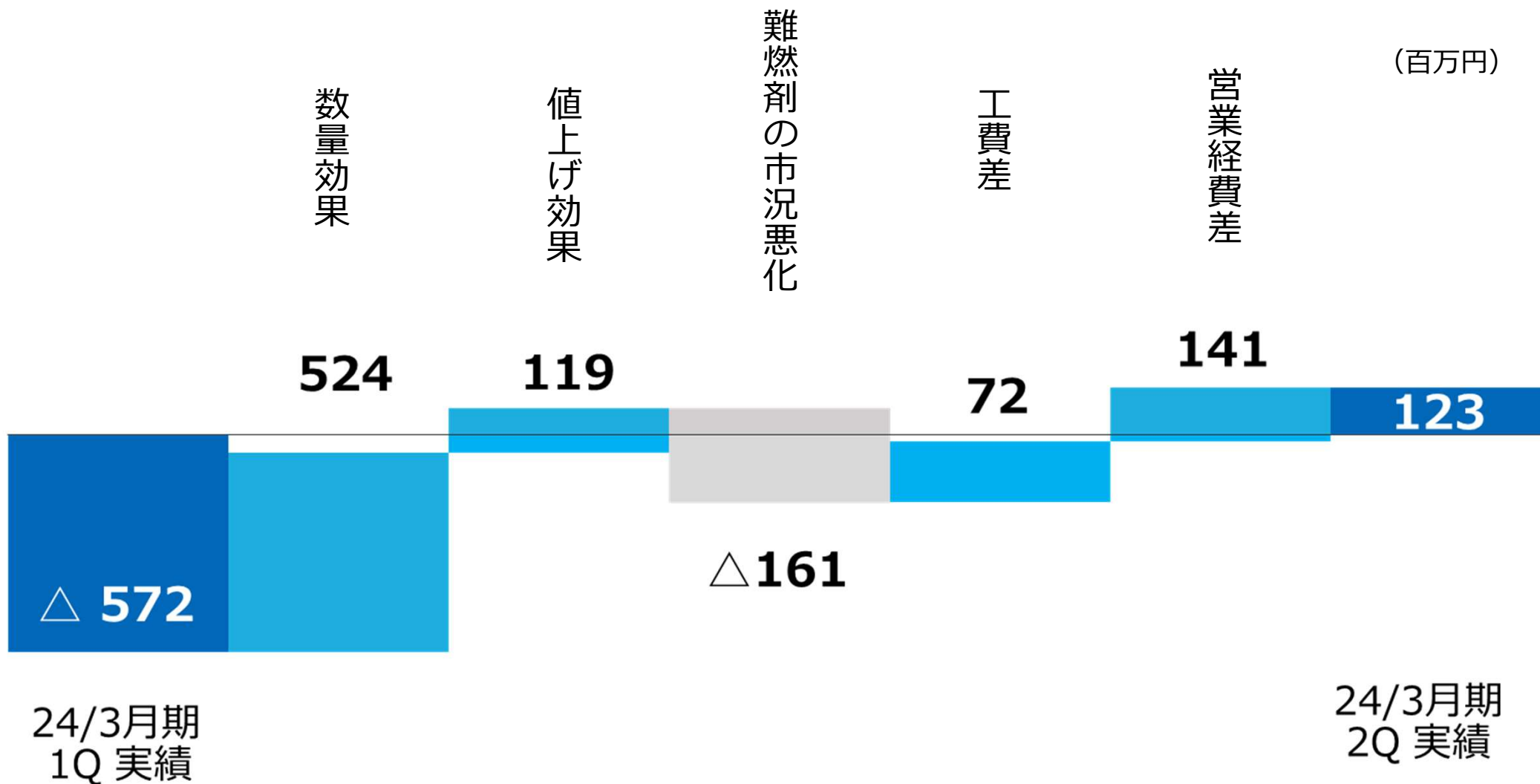


- \* 販売数量減少
- \* 原材料価格の高騰による値上げ活動
- \* 難燃剤の市況悪化による影響額
- \* 工場稼働率の改善による経費圧縮
- \* 販売活動及び研究開発費などの経費削減



# 第2四半期営業利益増減分析(24/3月期1Q・2Q比較)

- \* 販売数量増加
- \* 原材料価格の高騰による値上げ活動
- \* 難燃剤の市況悪化による影響額
- \* 工場稼働率の改善による経費圧縮
- \* 販売活動及び研究開発費などの経費削減



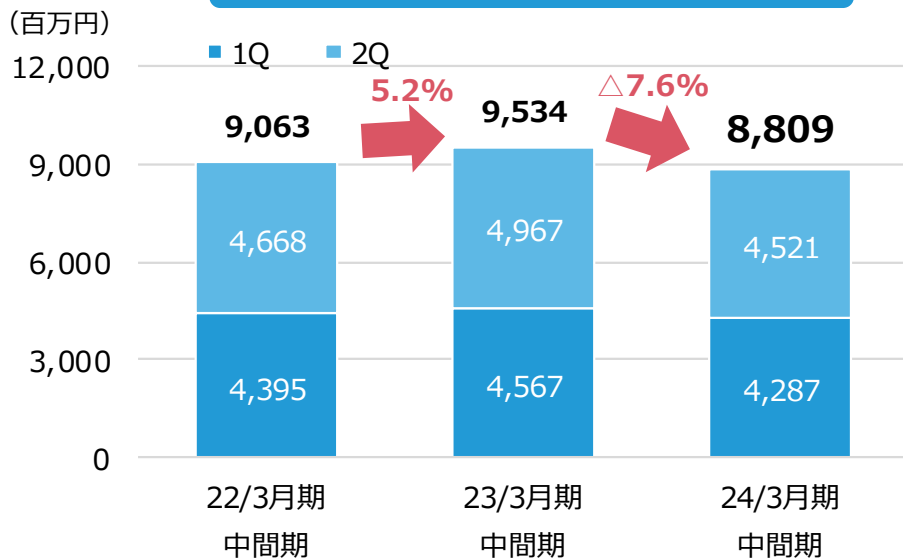




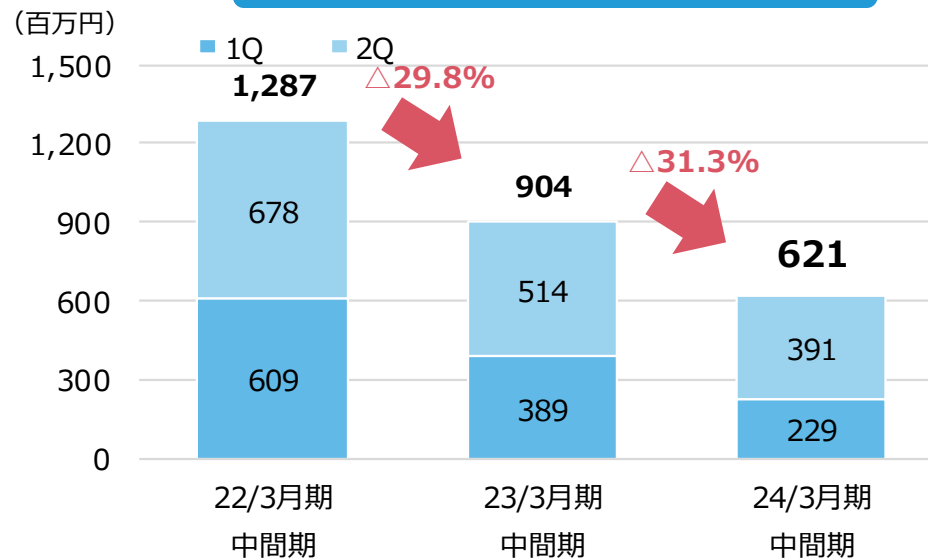
# 連結 セグメント業績 界面活性剤

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

売上高



営業利益



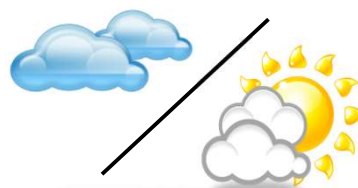
## 売上高：総じて低調に推移

- 塗料・色材用途：堅調に推移
- IT・電子材料、ゴム・プラスチック：低調に推移
- 石けん・洗剤用途：大きく落ち込む

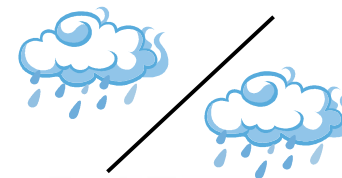
## 営業利益：減益

- 売上高の落ち込み
- 原材料価格の高騰による影響

### IT・電子材料用途



### 石けん・洗剤用途



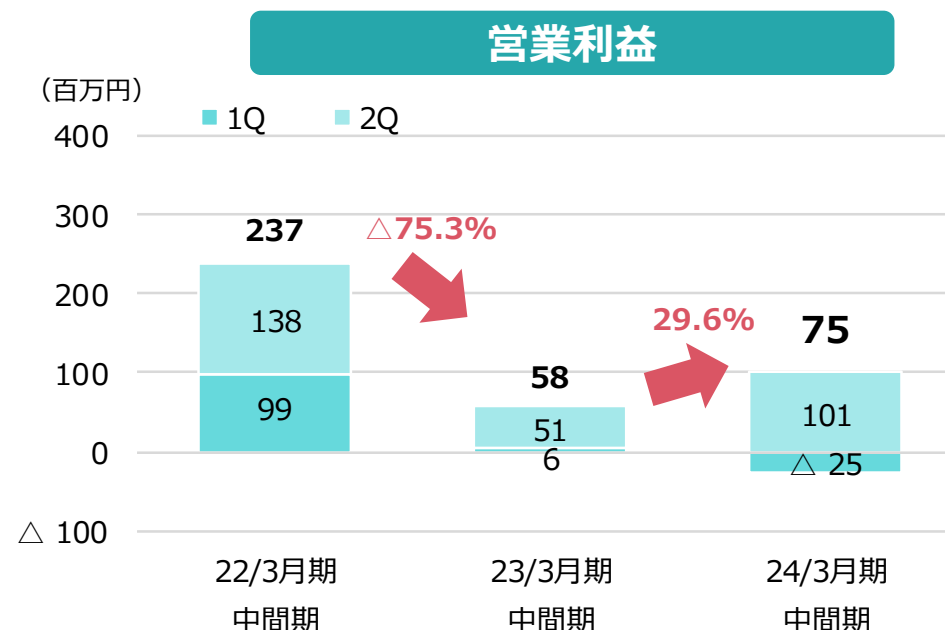
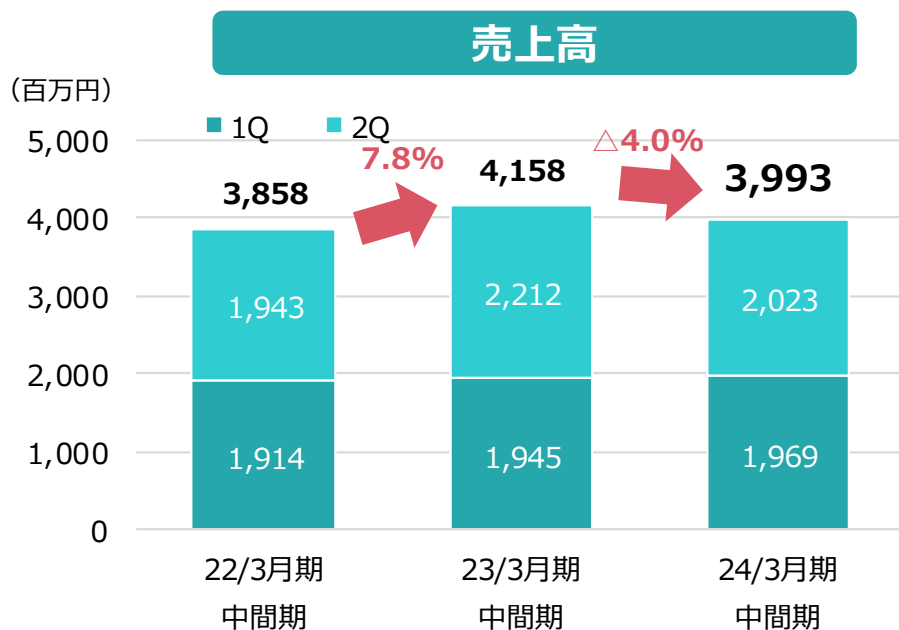
### 塗料・色材



# 連結 セグメント業績 アメニティ材料



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



## 売上高：総じて低調に推移

- 食品用途: ショ糖脂肪酸エステルは低調
- 香粧品用途: ショ糖脂肪酸エステルは海外堅調
- I化粧品・環境用途: セルロース系高分子材料は低調に推移

## 営業利益：増益

- 売上高の落ち込みを営業経費削減などでカバー

### 香粧品用途



### 食品用途



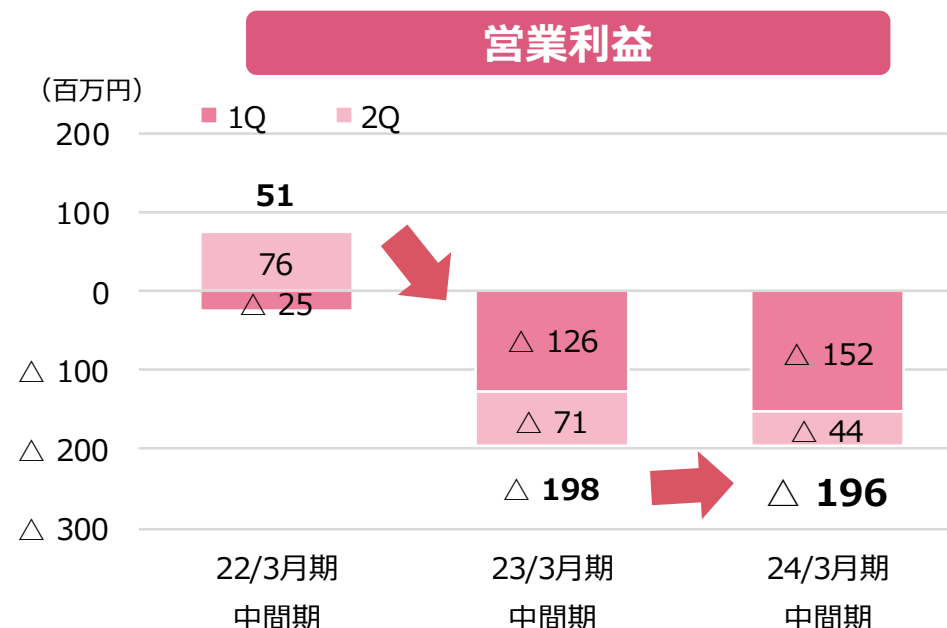
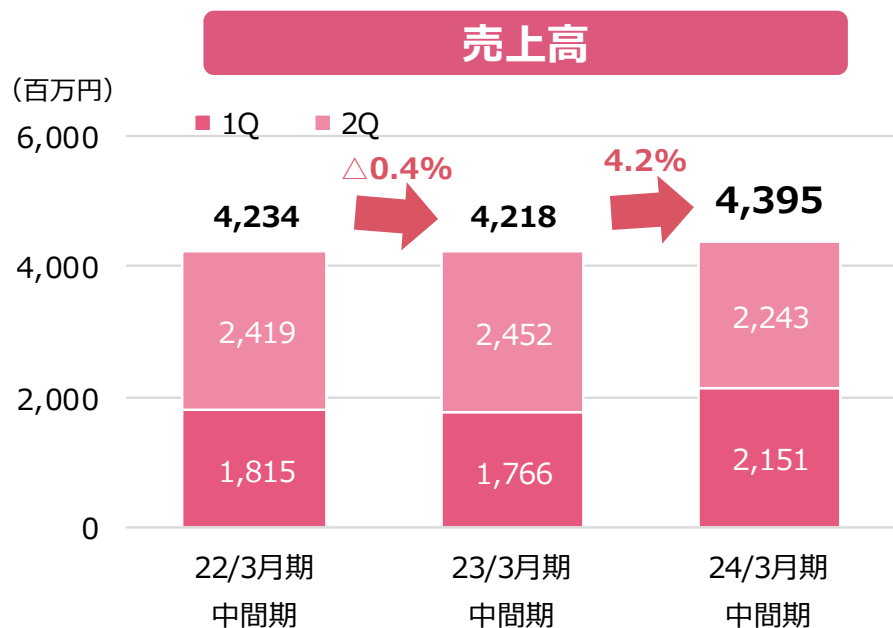
### エネルギー用途



# 連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



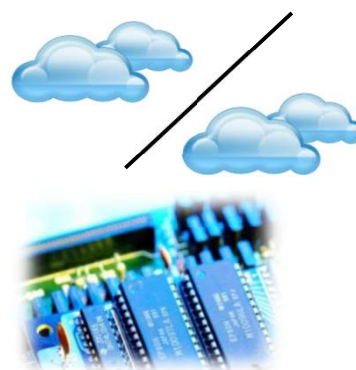
## 売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途：低調に推移
- 土木薬剤用途：大幅に伸長
- 合成潤滑油：低調に推移

## 営業利益：営業損失

- 原材料価格の高騰による影響

### IT・電子材料用途



### 土木用薬剤:岩盤固結



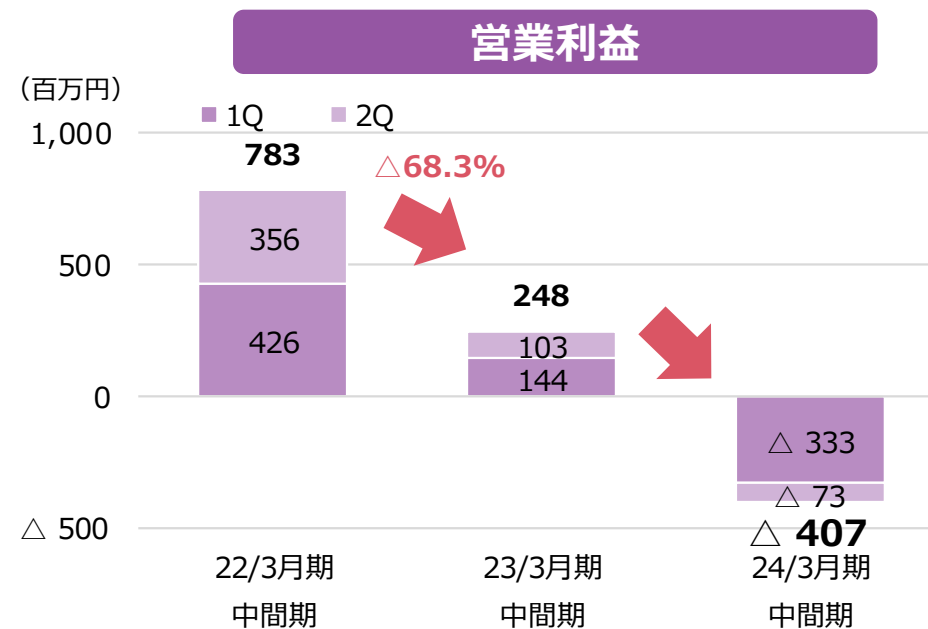
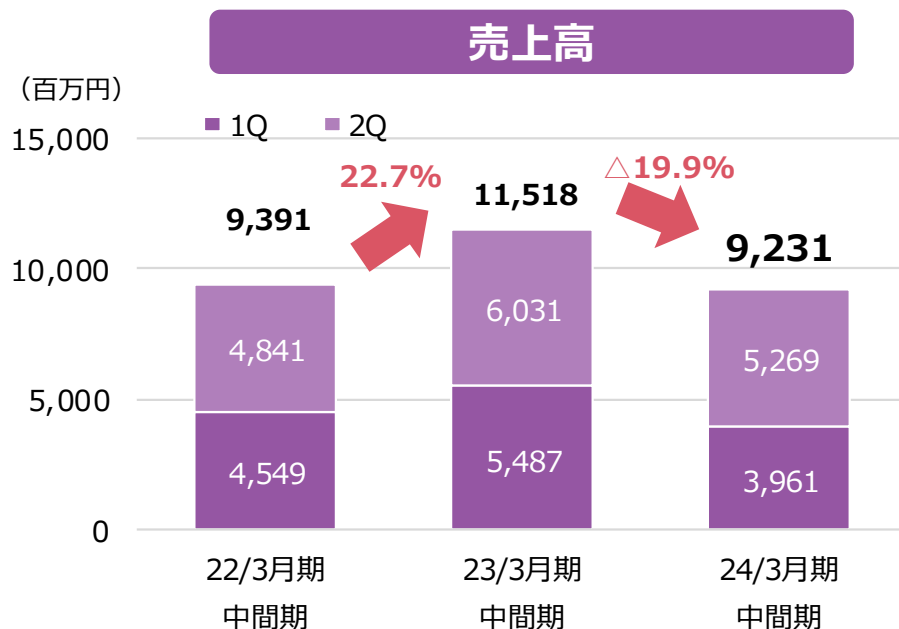
### 合成潤滑油



# 連結 セグメント業績 機能材料



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



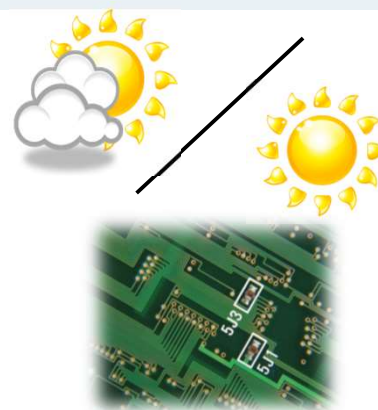
## 売上高：総じて大きく落ち込む

- 電子材料用途：堅調に推移
- ゴム・プラスチック用途：難燃剤は国内・海外共に大きく落ち込む

## 営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み
- 原材料価格の高騰による影響

### 電子材料用途



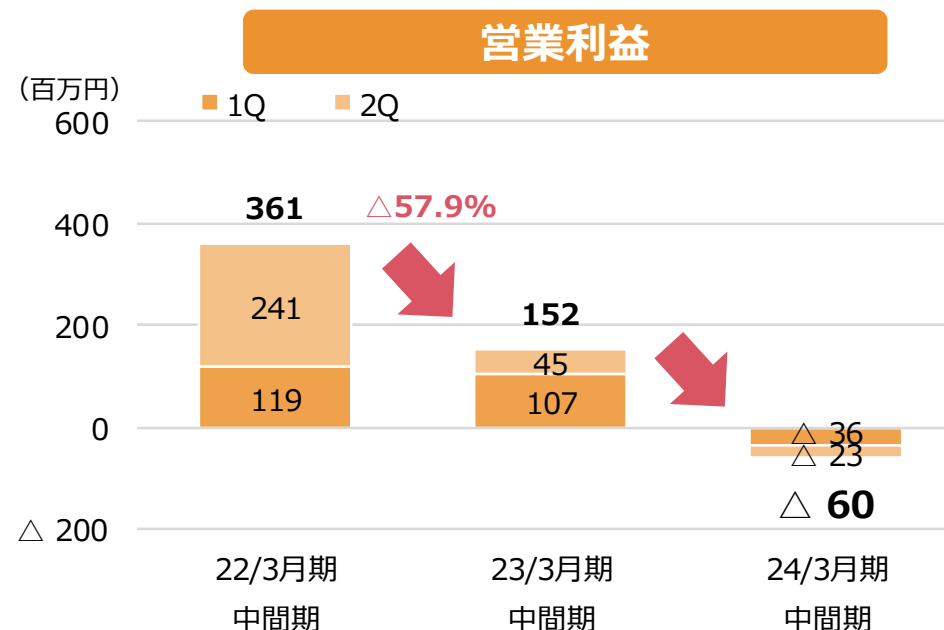
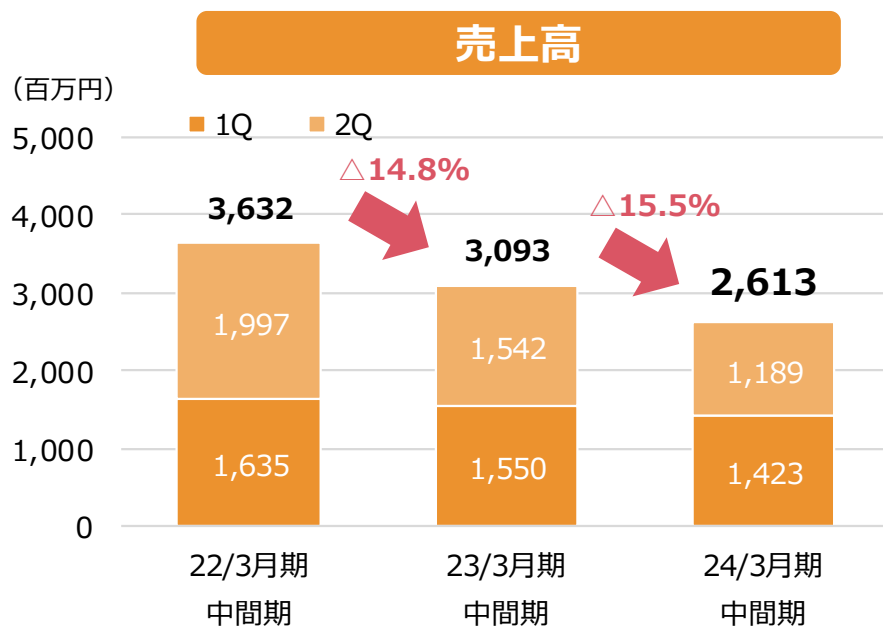
### プラスチック用難燃剤



# 連結 セグメント業績 電子デバイス材料



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



## 売上高：総じて大きく落ち込む

- 太陽電池用途：導電性ペーストは大きく落ち込む
- ディ스플레이用途：イオン液体は堅調に推移

## 営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み

### 太陽電池用途



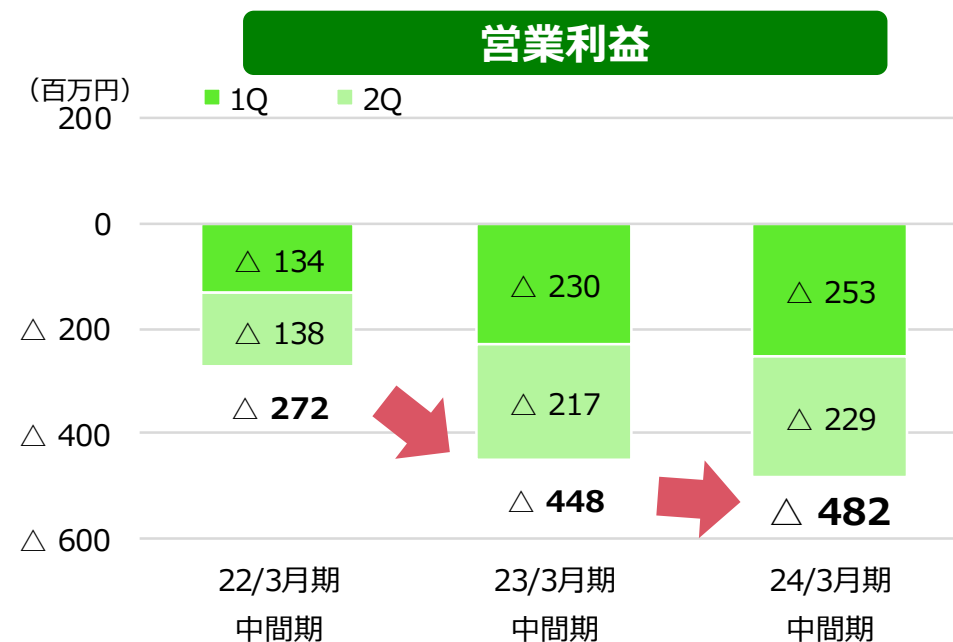
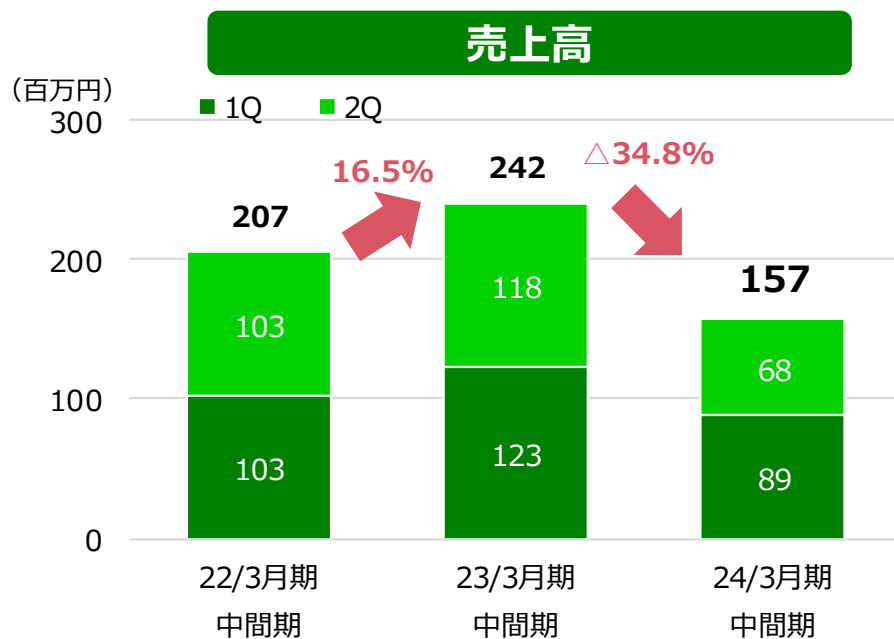
### ディスプレイ用途



# 連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



#### 売上高：前期と比べ84百万円減少

- カイコ冬虫夏草：堅調に推移
- 健康食品等の受託事業：低調に推移

#### 営業利益：営業損失

- 売上高の落ち込み
- 研究開発費が先行

#### 冬虫夏草



#### 健康食品等の受託事業





# 連結 連結比較貸借対照表の概要



(単位：百万円)

	2023年 3月末	2023年 9月末	増減額		2023年 3月末	2023年 9月末	増減額
流動資産	45,411	50,426	5,015	流動負債	20,639	22,009	1,369
現預金	9,128	15,259	6,130	仕入債務	10,351	9,554	△ 796
売上債権	17,323	17,816	493	有利子負債	6,990	8,157	1,167
棚卸資産	16,637	15,011	△ 1,626	その他	3,297	4,296	998
その他	2,322	2,339	17	固定負債	26,089	30,464	4,375
固定資産	39,614	40,761	1,147	有利子負債	25,479	29,849	4,370
有形固定資産	32,743	33,183	440	その他	609	614	4
無形固定資産	341	328	△ 12	負債合計	46,729	52,473	5,744
投資・その他の資産	6,529	7,248	719	純資産	38,296	38,715	418
合計	85,025	91,188	6,162	負債・純資産合計	85,025	91,188	6,162

# 連結 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



(単位：百万円)

	23/3月期 中間期	24/3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	595	2,138	1,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,320	△ 1,009	311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,455	4,826	9,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	191	171	△ 20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 4,989	6,127	11,117
現金及び現金同等物の期末残高	7,161	15,179	8,017

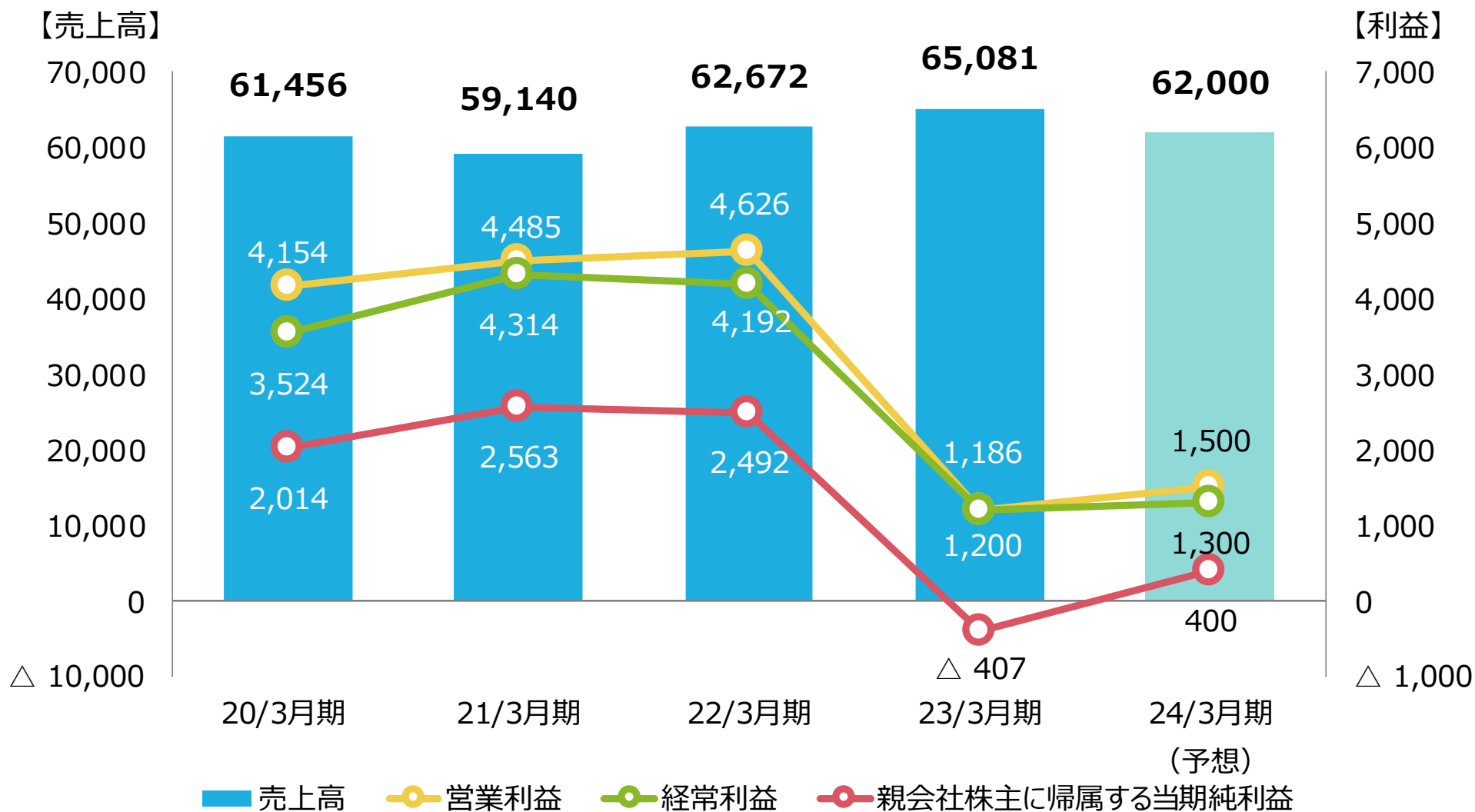


## 2. 短期の見通しと取り組み

# 連結 連結業績推移および予想



(単位：百万円)



# 連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2024年 3月期
自動車・二輪	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売台数は増加傾向</li> <li>サプライチェーン上の成型品の在庫過多は解消されつつある</li> </ul>	
情報通信 (5G)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイエンドサーバ用の需要が伸長</li> </ul>	
インフラ (リニア新幹線)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型プロジェクトは、当社計画より遅延</li> </ul>	
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要は回復傾向にある</li> <li>需給バランスは注視しつつも堅調な需要を見込む</li> </ul>	
家電・住宅建材 (難燃剤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外ともに低調が続いている</li> <li>難燃剤は、サプライチェーン上の在庫過多は解消されつつあり、底打ちから回復傾向にある</li> </ul>	

## 具体的な対策

- ①原材料・エネルギーコストの価格転嫁
- ②販売数量の増加
- ③工場稼働率アップによる工費単価の低減

# 連結 セグメント別売上高予想



セグメント	2023年3月期（実績）				2024年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期（実績）	下半期（予想）	通期（予想）	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	9,534	9,442	<b>18,976</b>	30	8,809	10,490	<b>19,300</b>	31	<b>324</b>	<b>2</b>
アメニティ材料	4,158	3,921	<b>8,079</b>	12	3,993	4,006	<b>8,000</b>	13	△ <b>79</b>	△ <b>1</b>
ウレタン材料	4,218	4,543	<b>8,761</b>	13	4,395	4,604	<b>9,000</b>	15	<b>239</b>	<b>3</b>
機能材料	11,518	11,056	<b>22,574</b>	35	9,231	10,768	<b>20,000</b>	31	△ <b>2,574</b>	△ <b>11</b>
電子デバイス材料	3,093	3,098	<b>6,191</b>	10	2,613	2,686	<b>5,300</b>	9	△ <b>891</b>	△ <b>14</b>
ライフサイエンス	242	255	<b>497</b>	1	157	242	<b>400</b>	1	△ <b>97</b>	△ <b>20</b>
合計	32,765	32,316	<b>65,081</b>	100	29,200	32,799	<b>62,000</b>	100	△ <b>3,081</b>	△ <b>5</b>

# 連結 セグメント別営業利益予想



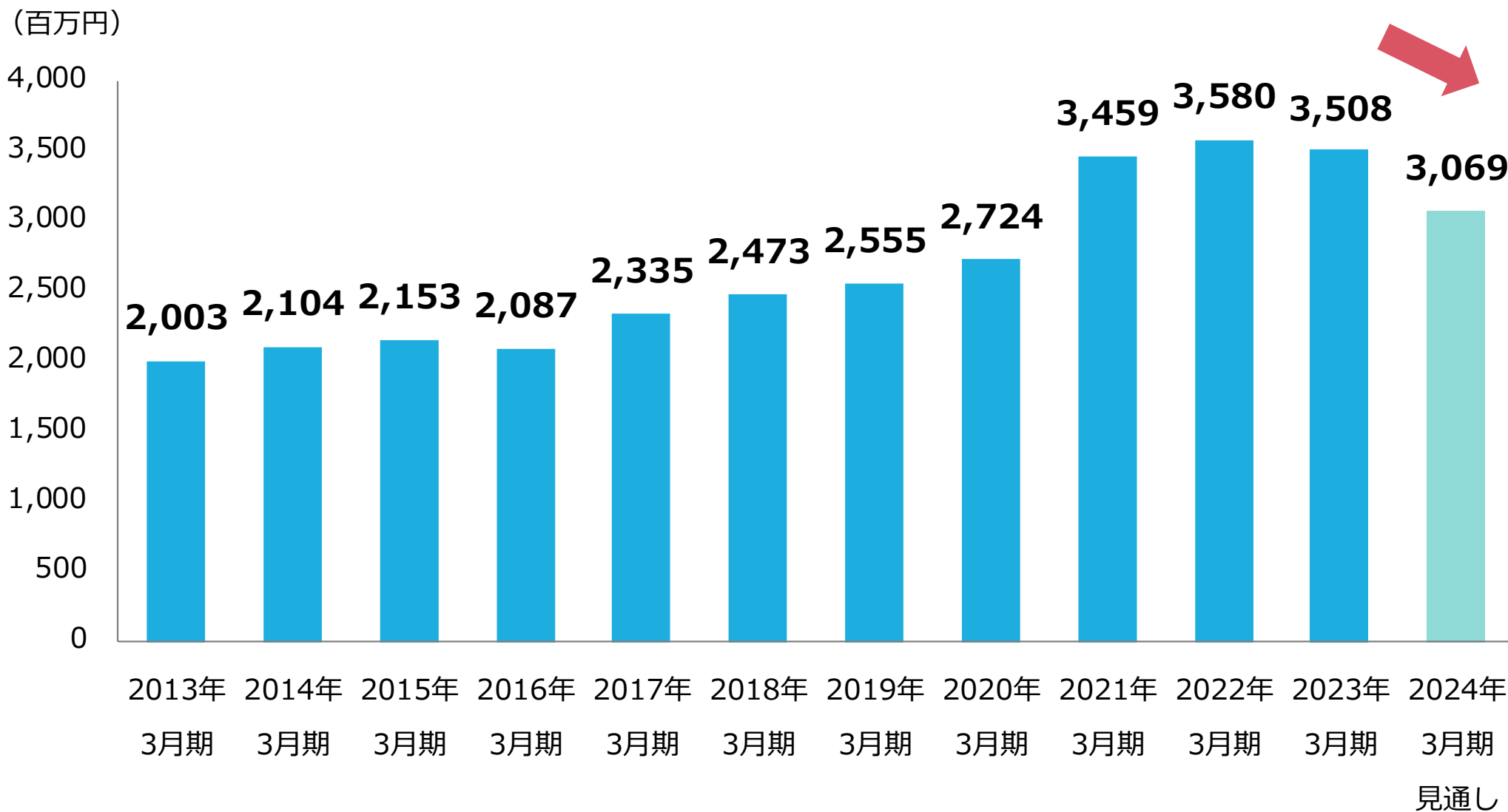
セグメント 単位：百万円	2023年3月期（実績）				2024年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期（実績）	下半期（予想）	通期（予想）	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	904	845	<b>1,749</b>	147	621	1,028	<b>1,650</b>	110	△ 99	△ 6
アメニティ材料	58	△ 59	△ 1	△ 0	75	324	<b>400</b>	27	<b>401</b>	-
ウレタン材料	△ 198	△ 49	△ <b>247</b>	△ 21	△ 196	46	△ <b>150</b>	△ 10	<b>97</b>	△ 39
機能材料	248	33	<b>281</b>	24	△ 407	807	<b>400</b>	27	<b>119</b>	<b>42</b>
電子デバイス材料	152	△ 13	<b>139</b>	12	△ 60	60	<b>0</b>	0	△ <b>139</b>	△ <b>100</b>
ライフサイエンス	△ 448	△ 286	△ <b>734</b>	△ 62	△ 482	△ 317	△ <b>800</b>	△ 53	△ <b>66</b>	-
合計	717	469	<b>1,186</b>	100	△ 449	1,949	<b>1,500</b>	100	<b>314</b>	<b>26</b>

# 連結 短期(2025年3月期まで)の取り組み

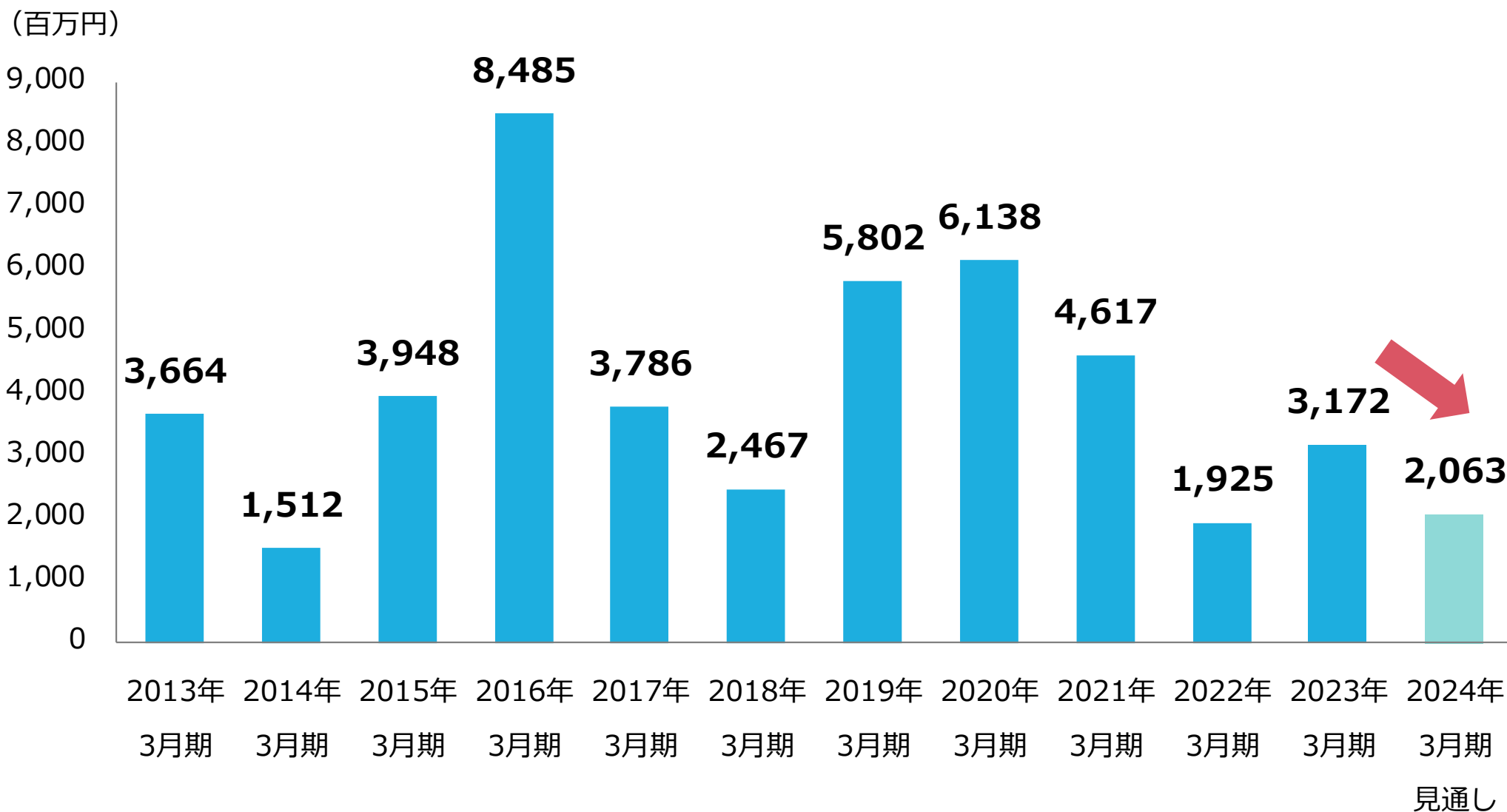


施策	具体的な取り組み	24/3月期	25/3月期
<b>2024年3月期上期実績・2025年3月期見通し</b>		△4	15
<b>価格転嫁・数量アップ</b>	①確実な価格転嫁による収益性改善 ②自動車・ディスプレイ・半導体を中心とした電材分野の拡販、受託事業拡大	14	22
<b>コスト削減</b>	・人件費を含む経費全体の見直しによる削減	5	0
<b>ライフサイエンス事業黒字化</b>	①快脳冬虫夏草、スタチン健康食品などのBtoC拡販 ②素材販売によるBtoB実績化 ③池田薬草 GMP認証活かした受託案件獲得	0	8
<b>合計</b>		15	45

# 連結 減価償却費の推移

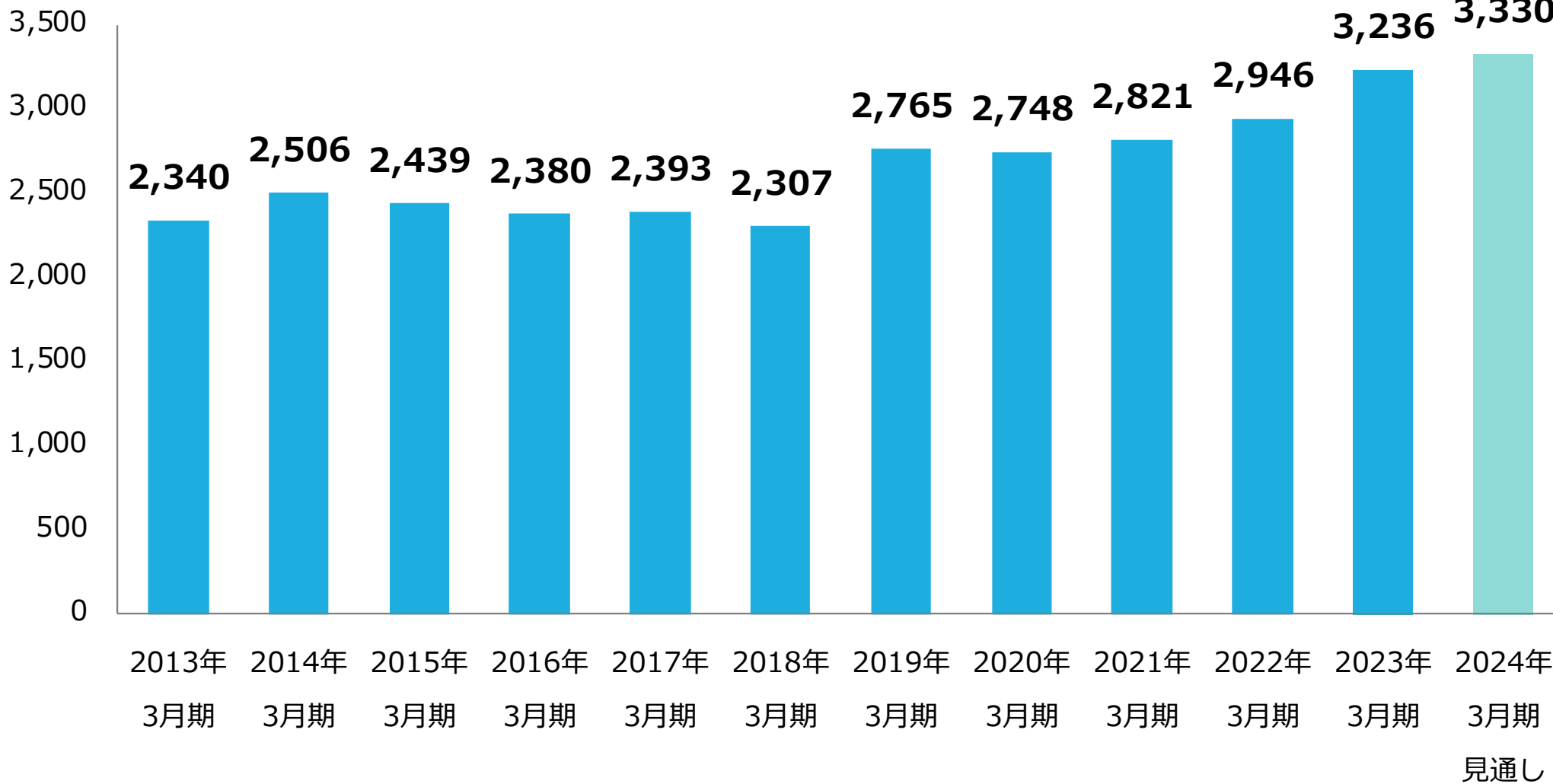


# 連結 設備投資額の推移





(百万円)



## 「快脳冬虫夏草」(機能性表示食品)を新発売！

<2023年8月4日新発売>

冬虫夏草由来成分(ナトリード)を機能性関与成分とする初めての**機能性表示食品**です。

「ナトリード」は、中高年の認知機能の一部である認知機能速度や視覚的な記憶力を維持するのに役立つ機能が報告されています。

【詳細はこちらからも確認いただけます】

<https://dkslife.jp/kainoutouchukasou lp01>

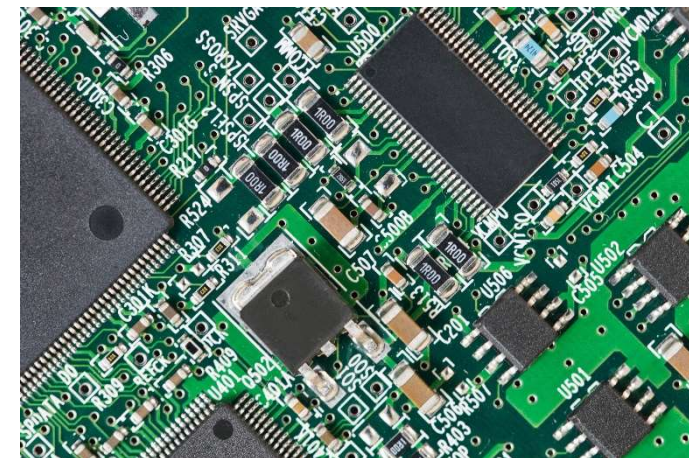


## 低誘電ハロゲンフリー難燃剤「PQ-60」を開発！

第一工業製薬の関係会社 晋一化工股份有限公司が、新規の低誘電リン系難燃剤「PQ-60」を開発しました。

5Gや6G/Beyond5G時代の高速通信機器に用いられる基板材料には、これまで以上に低誘電特性に優れた材料が求められます。

低誘電特性が高い「PQ-60」は、基板材料のメイン樹脂となるエポキシ系樹脂やPPE系樹脂などに配合した際に、それらの低誘電特性を妨げない製品設計が可能です。



## 3. 中長期のシナリオ

# 連結 2030年に向けたシナリオ

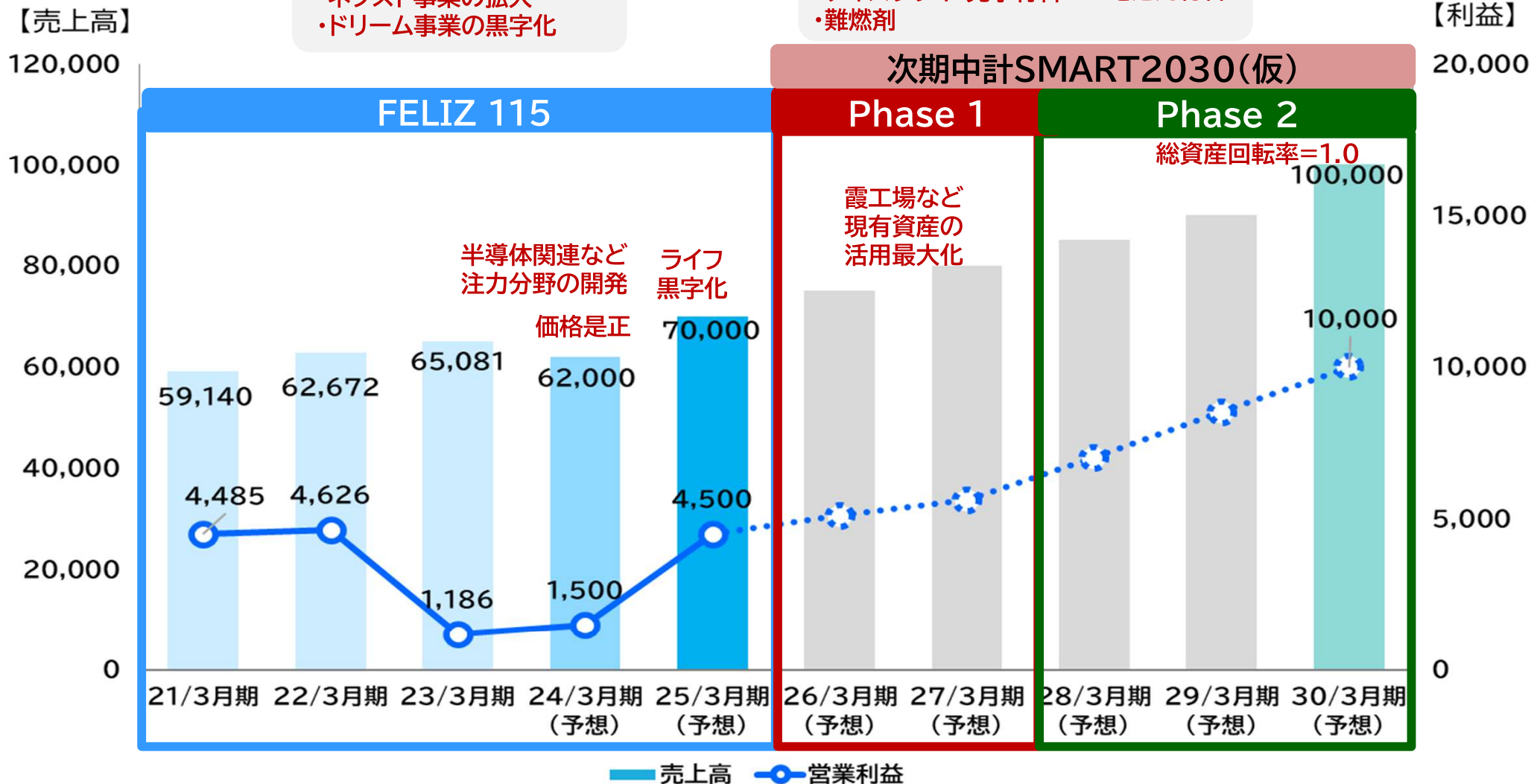


- ・アクチャル : 既存事業
- ・ネクスト : 周辺事業(既存技術から派生)
- ・ドリーム : 新規事業

- ・アクチャル事業の収益改善
- ・ネクスト事業の拡大
- ・ドリーム事業の黒字化

- ・半導体関連
- ・ディスプレイ・光学材料
- ・難燃剤
- ・糖誘導体
- ・電池用材料

(単位:百万円)  
【利益】



# 連結 2030年に向けた注力分野



## 事業領域

電子・情報



デジタル社会への貢献

環境・エネルギー



脱炭素社会への貢献

ライフサイエンス



健康社会への貢献

産業資材



循環型社会への貢献

## 注力分野トピックス

### 半導体・情報通信関連

- ✓ 半導体工程薬剤に用いられる**高性能洗浄成分有機アルカリ**の拡販
- ✓ **パワー半導体向け封止材料**の開発促進
- ✓ 次世代高速通信に対応した**低誘電材料**

### 電池用材料・電子制御材料

- ✓ サステナブル社会実現に貢献する**LiB電池用周辺材料**の開発
- ✓ 電子基板の性能・信頼性を支える**封止材 エムフレックス**の拡大

### 健康食品・脱臭/消臭

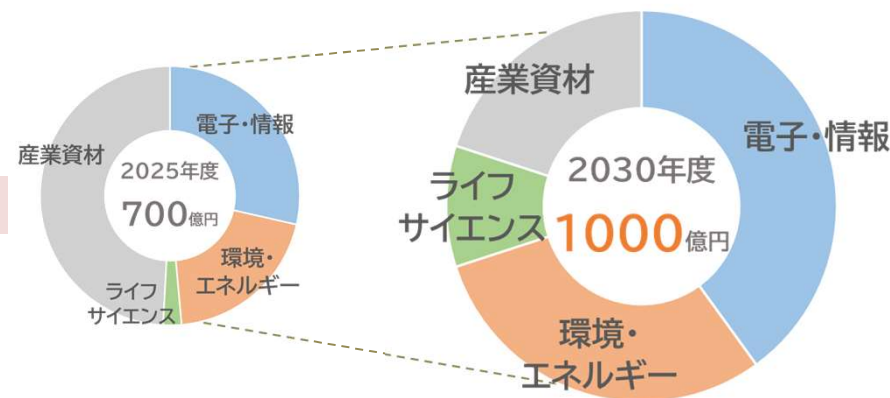
- ✓ 認知機能維持をサポートする**機能性表示食品冬虫夏草**の拡販
- ✓ **NIOCAN**を代表とした「においビジネス」の拡大

### 非石化対応・カーボンニュートラル

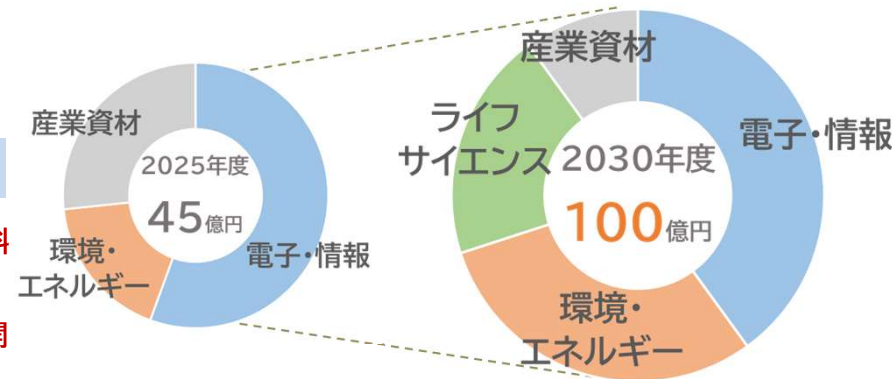
- ✓ 脱炭素社会へ貢献する**環境負荷の少ない天然由来原料**の活用 ex) 糖誘導体製品、生分解性樹脂添加剤
- ✓ コア技術である**界面活性剤技術**を**注力分野3分野へ展開**

## 事業規模 <注力3分野を拡大>

### 売上高



### 営業利益



※産業資材は、コア技術をもとに注力3分野へ展開を図る



事業領域と規模

技術

## 電子・情報



ディスプレイ  
5G/6G通信部材  
パワー半導体封止剤  
光エレクトロニクス部材  
エッジデバイス

- ◇低誘電樹脂変性
- ◇酸化重合
- ◇低熱膨張難燃化
- ◇封止◇光硬化
- ◇熱伝導・放熱
- ◇ナノ粒子分散
- ◇屈折率制御
- ◇3Dプリント
- ◇有機アルカリ

## 環境・エネルギー



電動車輛EV センサー  
バッテリー ソーラーパネル  
環境対応樹脂  
バイオプラスチック  
リサイクル

- ◇接着◇剥離◇複合
- ◇フィルム化
- ◇粒子表面改質◇封止材
- ◇電子伝導◇イオン伝導
- ◇セルロース、糖・多糖誘導体
- ◇樹脂リサイクル

## ライフサイエンス



食品 健康食品 医薬品原料  
養蚕ビジネス  
においビジネス 代替食品  
ニュートリション

- ◇天然素材活用
- ◇乳化◇分散◇可溶化
- ◇粉末化◇抽出
- ◇CMO/CDMO
- ◇消臭◇脱臭◇除菌
- ◇バイオセンサー・診断

## 産業資材・その他



石鹼・洗剤 クリーニング 塗料  
樹脂 農業 農薬 化粧品 食品  
添加物 トンネル崩落防止剤 難  
燃剤 分散剤 乳化剤

- ◇界面活性剤/設計・合成・配合
- ◇乳化重合
- ◇糖・セルロース誘導体
- ◇アルキレンオキサイド付加
- ◇水溶性高分子合成
- ◇ウレタン化
- ◇難燃化

強化技術: 省エネルギープロセス 低環境負荷 バイオマス原料活用 フロー合成 計算化学・予測・機械学習

## 2030年に向けた成長戦略

2024年

2025年

2026年

2027年

2028年

2029年

2030年

価格転嫁

売上高1,000億円、営業利益100億円

ライフサイエンス黒字化に目途

ROIC  $\geq$  WACC  
PBR = 1.0倍  
総資産回転率 = 1.0

霞工場などの現有資産の活用最大化、工場稼働率アップ、販売数量の増加

注力分野の設備投資

半導体、情報通信、電池材料、ライフサイエンスなど注力分野の開発促進

## 非財務戦略

### ①ステークホルダーとの対話

- ・会社説明会などを通じた投資家と経営層との双方向対話(年間4回以上)
- ・株主還元の充実
- ・開示拡充と認知度アップ

### ②ESG、サステナビリティ目標の具体化

- ・サステナビリティ目標達成に向けた取組み強化
- ・人材育成等に関する非財務情報の積極的開示

### ③社員エンゲージメント向上施策

- ・人事制度刷新(等級、評価、賃金)
- ・キャリア形成醸成に向けた仕組みと教育体制の構築
- ・社内表彰制度の見直し
- ・健康経営戦略マップに基づく施策の実行(従業員の健康維持、向上)

### ④多様な人財の活躍推進

- ・経営資源再配分の実施
- ・プロフェッショナル人材確保に向けた新制度導入
- ・女性管理職比率目標(2025年12%以上)の達成

## FELIZ 115 底入れ

### ①原材料/エネルギー高の価格転嫁

- ・利益目標の70%に達する価格転嫁の完遂

### ②販売数量の増加

- ・次世代高速通信に対応した低誘電材料の拡販
- ・電子基板の性能・信頼性を支える封止材の拡販

### ③現有設備の活用最大化および工場稼働率アップ

- ・受託案件などの取り込みによる霞工場の活用最大化
- ・熱水抽出、乾燥技術を活用した受託案件の獲得(医薬品、健康食品の原料)
- ・現有資産の見直しや整理

### ④経費節減・コストダウン体制強化

- ・社長をトップとする委員会の設置と各種経費削減施策の実施
- ・DX推進による業務効率の向上、無駄の削減



# 業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR部 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp